

地域情報

一般社団法人熊本県野菜振興協会上益城支部

ヒゴムラサキの立毛品評会が開催されました

上益城地域で生産されている夏秋ナス「ヒゴムラサキ」は標高約200mの吉無田高原を中心に生産者8名、約1haで栽培されています。

今年は4月の地震、6月の豪雨と立て続けに自然災害に見舞われ、生産者自身も被災し、圃場の一部が土砂崩れによって埋まるなどの被害もありました。そのため品評会の開催が危ぶまれましたが、一人ひとりがヒゴムラサキを消費者に届けるために丹精込めて育てたため今年も立派なナスが実り、9月下旬、無事に開催することができました。

品評会は、生産者全員ですべての圃場を回り、管理状況や病害虫の有無などを審査していきます。生産者は自身の管理と比較して栽培のコツを聞くなど、良いところを今後に活かしていこうと真剣な眼差しで観察していました。

収穫は11月中旬頃まで続くため、出荷終了まで再度、気を引き締めて栽培管理を行っていくことを部会員全員で確認しました。

次作からは、県育成品種「ヒゴムラサキ2号」の試作も部会員全員で取り組む予定です。支部では今後も引き続き支援を行っていきます。



品評会の様子



ヒゴムラサキ